

Smile Story

支える人も、支えられる人も
笑顔になれる。



INDEX

Haruna Watarai

【ホームヘルパー・コーディネーター】

① ホームヘルプ事業所 p.04

Chihiro Tomioka

【就労支援員・訪問型職場適応援助者】

① 就労移行支援事業所 p.05

Saya Shibata

【生活支援員】

① 就労継続支援B型事業所 p.06

Koichi Saeki

【世話人】

① グループホーム(共同生活援助) p.07

Kao Shimozato

【生活支援員】

① 重症心身障害児者施設 p.08

Hiroshi Yoshida

【生活支援員】

① 障害者支援施設 p.09

Information

インフォメーション p.10



できて当たり前なことなんて、

ひとつもない。

福祉の職業に就きたいと考えた時に

どの分野を選択するか、決めていますか。

福祉の分野は幅広く、多種多様です。

なかでも、「障害者福祉」は、

障害のある人もない人も共に暮らしていこうという思いに応えます。

さまざまな障害のある方とつながりをもつことで、

「普通」という言葉で片付けられてしまう

小さな喜びに目を向けることができる、素敵な仕事でもあります。

支える側も、支えられる側もお互いに刺激し合い、成長していける。

そんな障害者福祉を

ぜひあなたの選択のひとつに考えてみてください。





ホームヘルプ事業所

ホームヘルパー
コーディネーター

社会福祉士／介護福祉士
重度訪問介護従業者

渡會 春奈さん

私は、ヘルパーとして介助をするほかに、チラシを配って人材を募集したり、利用者ヘルパーをマッチングさせるコーディネーターを兼任しています。

大学は高齢者福祉の仕事をしている母親の影響で福祉系に進学しました。そこで、今の勤務先から講師としてみえた障害当事者の方の、結婚し、家族がいて、健常者と同じように地域で自立生活をしているという話を聞いて驚きました。偶然、同施設でアルバイトを募集していたので、資格を取得できることもあり、障害者福祉の道へ進みました。

😊 カルチャーショックが、
障害者福祉を知るきっかけ。



😊 私と同じ道を選ぶ後輩たちが
支援の輪を広げる。

ここで働くスタッフの中には、私と同じようにアルバイトから障害者福祉の職に就く方が多くいます。アルバイト中に「障害の有無に関わらず、普通の生活をするのは当たり前なのだ」ということを学び、そのお手伝いがしたいと感じてくれているようです。

ただ、私たちと同じような生活をしていても、障害者の社会的立場は弱いのが現状です。利用者の方の小さな声に耳を傾け、それを受け止めているかどうか、施設見学に行った際にはぜひ利用者の話も聞いてみてください。



買い物の際には、時には利用者の目となり、見えない位置にある商品を伝え、幅広い選択肢から選んでいただけるよう心がけています。



定期的にヘルパーと面談を実施。現状や抱えている課題についてアドバイスをしたり、利用者の声をフィードバックして、スキルアップをサポートします。

本音でQ&A

Q この仕事を通して、
自分の中で
何か変化はありましたか？

A 障害当事者がイベントの企画・運営をしている姿を見て、障害があっても何でもできるのだと知りました。日々、障害者は感動や保護の対象ではないことを実感しています。

Q 普段、仕事中心に
心がけていることは？

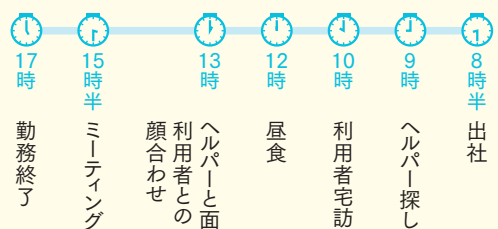
A 障害当事者の意思を飛び越えた支援をしていないか。ヘルパーはあくまで利用者の介助が役割なので、こちらから「〇〇しましょう」などの提案はしません。でも、聞かれた時に応えるのはOKです。

ハンドタオル

感染予防のためにMyタオルを持ち歩いています。私が体調を崩してしまうと、介助予定だった利用者や他のヘルパーに迷惑をかけてしまうので、体調管理には気を配っています。



渡會さんの
必須アイテム



渡會さんの
ある1日

[9時～17時の勤務のとき] ※基本は9時から17時の勤務ですが、スタッフが交代で待機し、24時間対応できる体制をとっています。



就労移行支援事業所

就労支援員
訪問型職場適応援助者
(ジョブコーチ)

訪問型職場適応援助者
(ジョブコーチ)
訪問介護養成研修2級課程修了
(ホームヘルパー2級)

富岡 千尋さん

私のジョブコーチとしての仕事は、働きたい意思のある利用者の就労を支援することです。面接指導や履歴書の添削など、二人三脚で試験当日に向けた訓練をしています。また、どんな仕事に向いているか分からない時には一緒に考えたり、練習をしてみたりして、利用者に合った就労を目指しています。就職が決まった後、就労場所に足を運び、事業所と利用者の上に立ってお互いのフォローをすることも。元氣そうに働く利用者の姿を見られた時には、心からよかったですと実感できます。



一緒に頑張ったから
元氣に働く姿を見るとうれしい。



障害者福祉の現場で働くようになってから、私自身にも変化がありました。それまでは割と簡単にあきらめてしまいがちでしたが、利用者皆さんの「とにかく前向きにやってみる」姿に影響を受け、粘り強くなった気がします。片手に障害のある利用者が袋詰め作業に苦労して、何度も挑戦していた時は、私自身も片手で作業をしてどこがどんなふうに行かないのかを体験し、一緒に解決策を考えました。「初めてできた！」と喜んでいただけたときは、私もとてもうれしかったです。



あきらめずに工夫をすれば、
できることを教えられた。



利用者の希望に沿った就職ができるよう、履歴書添削は、ただチェックをしたものを返却するのではなく、丁寧に説明をしながら行います。



どんな仕事に向いているのかが分からない利用者には、簡単な仕事体験をするアセスメントを実施。この様子から職種の適性を判断します。

本音でQ&A

Q 休日の過ごし方を
教えてください。

A 仕事とプライベートのオン/オフはしっかり切り替えています。長期休暇は海外旅行に行くことも。最近では、仕事終わりに通ってスキューバダイビングの資格を取得しました。

Q この仕事で
難しかったことと、
解決方法を
教えてください。

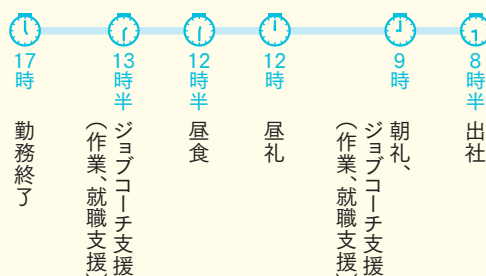
A 失語症の方と意思の疎通が上手くいかなくて悩み、上司に相談をしました。助言を受けて、紙に書いた簡単な質問と「はい」と「いいえ」の札を使い、相手の言いたいことをくみ取ることができました。

手帳

利用者の面接や職場見学などの予定を書いた手帳です。急な予定変更にも対応できるように、常に持ち歩いているので、これがないと、かなり焦ります。



富岡さんの
必須アイテム



富岡さんの
ある1日

[8時45分～17時の勤務のとき]



<p>就労継続支援 B型事業所</p>	<p>生活支援員</p>	<p>—</p>	<p>柴田 咲耶さん</p>
-------------------------	--------------	----------	----------------



パン作りには材料の計測や生地作り、焼きの作業などいろいろな工程があるので、一人ひとりの利用者に合った役割分担をしています。

焼き上がったパンは、一定時間冷ましてから袋詰め作業をします。袋へのラベル貼りも、配達場所ごとに仕分ける作業も、すべて利用者が行っています。

😊 **知識や経験も必要だけど、やってみようという気持ちも大事。**

私の場合、高校も大学も福祉とは全く関係のない学校でした。母親が同じ法人内の病院で看護師として働いており、「人材を募集しているからやってみない？」と勧められ、施設見学に参加。学生時代は運動部に所属していたこともあり、利用者の皆さんと一緒に体を動かす作業に魅力を感じ、この世界に飛び込みました。私も気軽にはじめたので、障害者福祉を選択するきっかけとして「やってみようかな」という気持ちを大事にするのも良いかもしれません。

😊 **利用者のできることをさりげなくサポート。**

私の勤め先は精神障害のある方が仕事をしに通う場所です。私の主な仕事はパン工房で、利用者がパンを焼いたり袋に詰めたりするのをサポートすること。20種類以上のパンの中から、毎日オーダーに合わせて焼き、配達・販売までを行っています。パン工房に配属される利用者が多いので、気をつけているのは、極力手を出さないことです。利用者の皆さんが、自立して仕事ができる喜びを実感していただきたいと思っています。

本音でQ&A

Q この仕事をしていて、うれしかったエピソードは？

A 普段は施設内で作業をしている利用者が、あるとき一緒に外へ出て販売に参加し、自分たちで作ったパンが売れる喜びを体験できた時は、私もうれしかったです。

Q 今後、取り組んでいきたいことは？

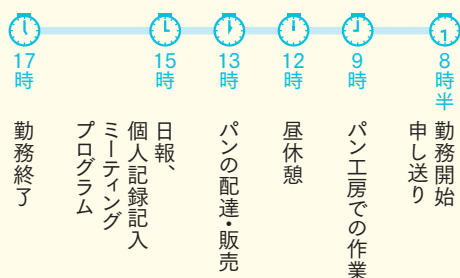
A 余暇活動としてクッキーづくりをしたところ大変好評でした。利用者のなかには、ここで仕事をする以外の余暇を過ごすのが苦手な方もいるので、パンづくりを通じて余暇を楽しんでいただけたらと思います。

マスクとキャップ

食品を扱うパン工房での作業中には、絶対に欠かせないアイテムです。また風邪が流行っている時期にも、感染防止のためにマスクを着用しています。



柴田さんの 必須アイテム



[8時半～17時の勤務のとき]



<p>グループホーム (共同生活援助)</p>	<p>世話人</p>	<p>保育士 幼稚園教諭 社会福祉主事</p>	<p>佐伯 晃一さん</p>
-----------------------------	------------	---------------------------------	----------------



😊 **利用者の家族の気持ちも分かる
自分だけができる支援。**

二人の妹が軽度の自閉症なので、利用者の家族の気持ちがかかる私の経験を活かせる仕事に就きたいと考えていました。保育士になる夢もあり、本当にギリギリまで迷いましたが、障害者福祉施設でのボランティア体験と、「今、一番やりたいことをやった方がいい」との恩師の言葉に後押しされて決断。両親も私の選択を喜んでくれました。障害者福祉関係の仕事をする母とはお互いに仕事の話をしやすく、妹もゆくゆくはグループホームを利用する予定なので、私とその現場を知っていることが心強いようです。

😊 **些細なことにも耳を傾け、
利用者の変化に目を向ける。**

利用者5人のグループホームの責任者兼世話人として、利用者の食事・入浴介助、金銭管理、余暇支援など生活のあらゆる場面をサポートしています。最初は私自身に余裕がなく、作業をしながら利用者との会話をしていた時がありました。でもそれでは細かな変化に気づけないと考え、一度作業の手を止めて、意識と体を向けてコミュニケーションをとることを心がけています。また、グループホームの世話人を志望している方は、日常生活で必要な家事、特に料理の腕を磨いておく役に立ちますよ。



食事は利用者の食べたいものや、栄養バランスを考えた料理を作ります。この日はみんなで焼そばを作って、利用者と職員と一緒にテーブルを囲みました。



手洗いや洗顔、歯磨きなど、基本的なことは利用者が自分たちでします。でも確認の時に、まだ不十分だと感じる部分をそっとお手伝いします。

本音でQ&A

Q 休日の過ごし方を教えてください。

A 連休には大勢の友だちとよくキャンプに行きます。また、趣味でギターを練習しているので、私の演奏で音楽好きな利用者たちと一緒に歌を歌えたらいいと思います。

Q この仕事のやりがいとは？

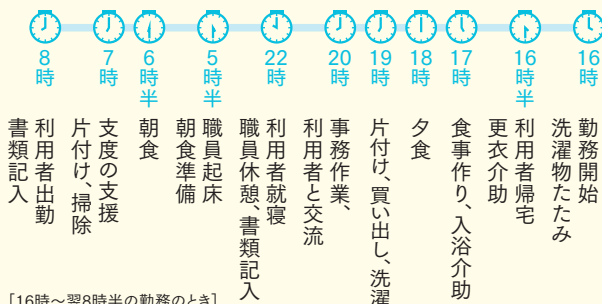
A 障害のある方々は健常者と比べたらできることは少ないかもしれませんが、そのぶん人より優れているところがあり感受性も豊かです。その良いところを見つけて一緒に成長していくことが私の喜びです。

連絡ノート

利用者の体調や細かな変化、職員が感じたことを記入するための連絡ノート。自分が休みのときの利用者の状態も知りたいと思っははじめたもので、細やかな支援につながっています。



佐伯さんの
必須アイテム



佐伯さんの
ある1日

[16時～翌8時半の勤務のとき]



重症心身障害児者施設	生活支援員	小学校教諭Ⅰ種 特別支援学校教諭Ⅰ種	下里 花央さん
------------	-------	-----------------------	---------

もともとは教員になろうと思っ、大学は教育学科へ進学。その大学では特別支援学校教諭免許の取得が可能だったので、実際に障害児と触れ合った上で免許を取りたいと考え、福祉施設でボランティアをしました。その結果、限られた時間ではなく、日常生活も含めて長く見守っていただける点に惹かれて生活支援員になりました。

利用者の食事や排せつ、更衣、入浴などの日常介助と、利用者の好きなことを探す療育活動が私の仕事内容です。粘土を使った創作や音楽活動、スノーゼンなどを通して生活に潤いを与えられるようにしています。

😊 短いつながりでなく、長く見守っていききたい。



😊 お互いの良い関係がより良い支援を可能にする。

感情をストレートに伝えるのが苦手な方でも、手を握ってうれしさを表現したり、モニターのアラーム音で緊張を伝えてくれたりします。言葉でコミュニケーションが難しいからと言って淡々とケアするのではなく、明るい声と表情で接することを心がけています。そうすることで、利用者はもちろん、ご家族やスタッフとも良い関係が築けると思います。また、さまざまなスタッフがさまざまな視点で一人の利用者と向き合い、気づいたり考えたことを共有して、より良い支援に活かしています。



療育活動では、粘土をこねたり、丸めたりして感触を楽しみます。表情に表れなくても目の動きや声で利用者のリラックスした気持ちが伝わってきます。



リフトを使った移動介助。利用者が無理な体制になったり、重心がずれてバランスを崩さないように気を付けながらの作業になります。

本音でQ&A

Q 障害者の支援に必要なことは？

A 専門知識はもちろん大切ですが、私の場合は、たくさんの知識よりも「利用者さんの暮らしをもっと良くしたい」という強い想いが原動力になって毎日がんばれる氣がしています。

Q 休日の過ごし方を教えてください。

A よさこいダンスのチームに所属しています。軽い気持ちではじめたのに、平日と休日の週に2回は練習しています。練習の成果は、どまつりをはじめあちこちのお祭りで披露しています。

ネームプレート

職員の方が手づくりしてくれたネームプレートです。ピンや硬い素材だと、利用者を抱っこした時に危ないので、柔らかい布できています。腕に巻く部分は各自オリジナルで、私は黄色のシュシュを使っています。



下里さんの 必須アイテム

- 17時 夕方の方の申し送り
- 16時半 デイルームの片付け、記録
- 15時半 おむつ交換、パジャマへの更衣介助
- 14時半 療育活動
- 14時 おむつ交換
- 12時 昼休憩
- 11時 デイルームへの移動介助
- 9時半 入浴・更衣の介助
- 9時 利用者情報収集、申し送り
- 8時半 出社

下里さんの ある1日

[8時半～17時15分の勤務のとき] ※日勤、夜勤、早番、遅番の4交替制

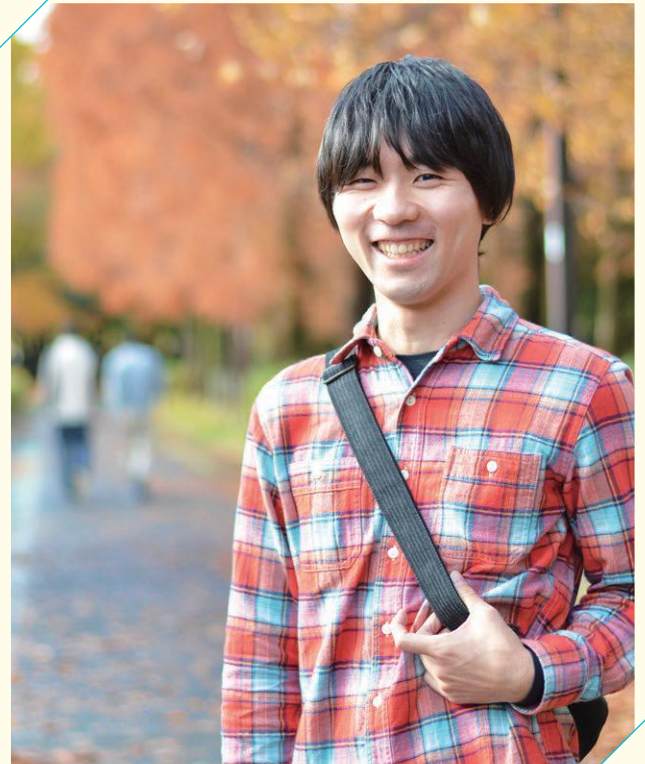


障害者支援施設	生活支援員	社会福祉士 介護福祉士	吉田 宇宙さん
---------	-------	----------------	---------

将来的に両親の介護を考えて、介護福祉士を養成する大学へ進学しました。デイサービスのアルバイトで障害のある子どもたちと一緒に勉強や遊び、買い物訓練などをするなかで知った、触れ合う楽しさと支援の難しさにやりがいを感じ、障害者福祉の道に進みました。

現在の職場には実習でお世話になった縁で就職しました。生活支援員として、利用者の食事、排せつのほか、日中作業の介助を行っています。また、短期入所担当として、近隣の方が利用される際の日程調整などの事務作業もしています。

😊 障害のある子どもたちが
背中を押してくれました。



😊 いつでもあなたを受け入れる
用意があります。

仕事中は、常に落ち着いた雰囲気であることを心がけています。精神疾患を患っている利用者の中には気分が波のある方もいるからです。こちらが気持ちよく安定していなければ、安心して頼っていただけません。この仕事に就くまでは自分の想いが先に口をつくタイプでしたが、今はあなたかく受け止める姿勢が大事だと思っています。

通ってもらおうのではなく入居していただく施設なので、利用者のご家族と接する機会も多いです。このため、今後は、社会人としての常識やマナーをもっと身に付けたいです。



天気の良い日には、利用者の方たちと一緒に施設周辺を散歩することも。適度な運動は気分転換にもなるので、皆さんに好評なサービスのひとつです。



短期入所を希望する利用者のスケジュールを管理し、適切な介助を提供。急な予定変更にも対応できるよう、余裕を持ったスケジュールリングが必要です。

本音でQ&A

Q この仕事をしていて、
うれしかった
エピソードは？

A いつもできていることができず動揺した利用者の方が、近くにいる職員を飛び越えて僕を呼んでくれたこと。指名といったら大袈裟ですが、頼りにされるのはうれしいですね。

Q 吉田さんの仕事について、
ご家族の反応は？

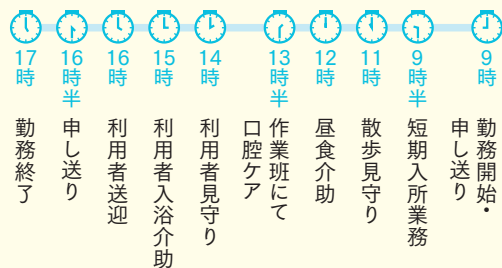
A 応援してくれています。お祭りをする時に販売する野菜が集まらなかったことがありました。僕が困っているのを知り、畑で収穫した野菜をたくさん持ってきてくれました。

マスキングテープ

職員の方たちとやり取りするメモ書きを貼る際に重宝しています。自然にかわいい柄を選んでしまうのは、見た人が楽しい気分になってほしいと思っているからでしょうか。

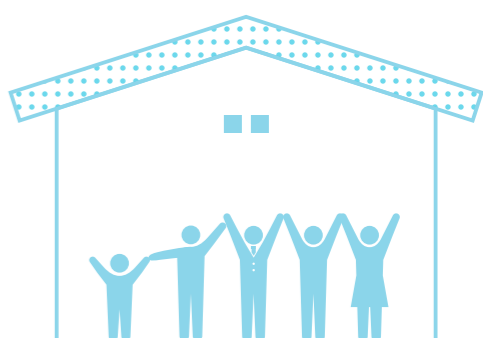


吉田さんの
必須アイテム

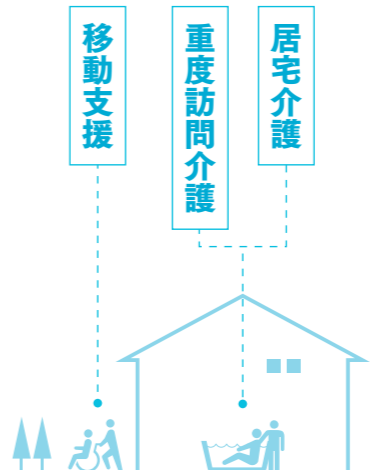


[9時～17時の勤務のとき] ※勤務形態は早番・日勤・遅番・夜勤の4交替制です。

障害福祉サービスの 職場を紹介します

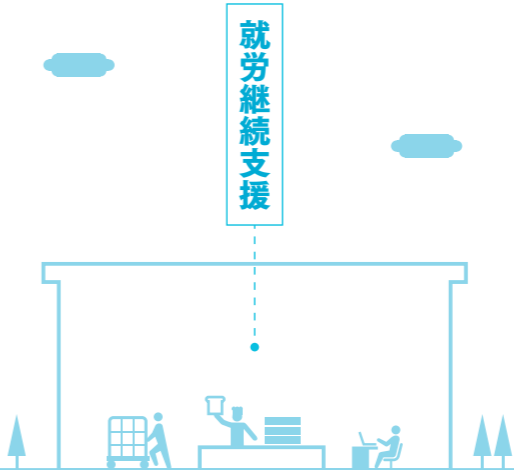


ホームヘルプ事業所



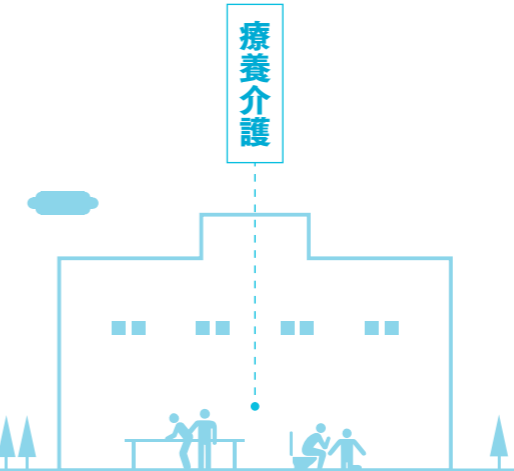
多くの訪問介護員（ホームヘルパー）や移動支援従事者（ガイドヘルパー）が活躍しています。居宅介護は、自宅で入浴、排せつ、食事の介護などを行います。重度訪問介護は、重度の肢体不自由者または知的障害、精神障害により常時介護を必要とする利用者を対象に、自宅で入浴、排せつ、食事の介護や見守りなどを行います。また、移動支援は、単独での外出が困難な利用者に付き添い移動の支援を行います。

就労継続支援B型事業所



就労継続支援事業所にはA型とB型の2種類があります。B型では、一般企業での就労が困難な利用者に対して雇用契約を結ばずに働く場を提供するとともに、生産活動を通して就労に必要な知識や能力向上のための訓練を行います。

重症心身障害児者施設



重症心身障害児者施設では、医療と常時介護を必要とする利用者に対して、生活支援員が食事、入浴、排せつ、着替えなどの支援を行います。常に医療スタッフと連携を図りながら、機能訓練や療養上の管理、看護、介護の補助もしています。

そのほかの 主な障害福祉サービス

同行援護

視覚障害により移動に著しい困難を有する利用者の外出にヘルパーが同行し、移動に必要な情報の提供や援護などを行います。

行動援護

知的障害、精神障害のため行動上、著しい困難がある利用者へヘルパーが付き添い、行動する時の危険を回避するために必要な援護や外出支援などを行います。

重度障害者等包括支援

常時介護を必要とし、特に介護の必要性が高い利用者に対して、居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護、生活介護、短期入所など複数のサービスを包括的にを行います。

自立訓練（機能訓練・生活訓練）

障害者が自立した日常生活または社会生活を送れるよう、一定の期間、身体機能または生活能力の向上のための訓練を行います。

就労継続支援A型

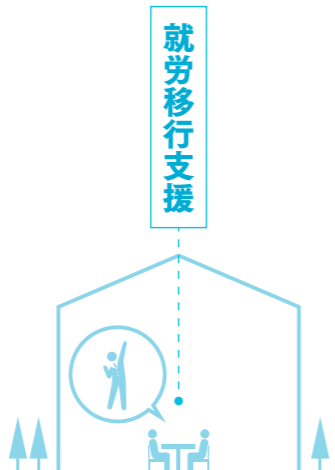
一般企業での就労が困難な利用者に対して、雇用契約を結んで働く場を提供するとともに、知識および能力向上のための訓練を行います。



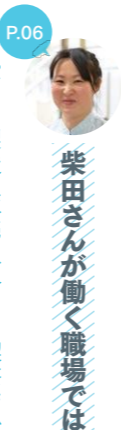
P.04 渡會さんが働く職場では

ホームヘルプを通して障害者の地域での生活を支えています。利用者のニーズに合った支援をするため、ヘルパーの面接や派遣日時の調整をするコーディネーターとしての役割も果たしています。

就労移行支援事業所



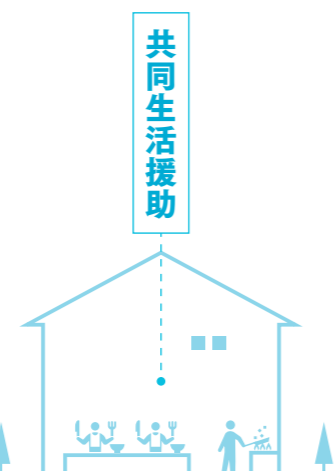
一般企業などへの就職を希望する利用者に対して、一定期間、職業指導員や生活支援員のサポートのもと、就労に必要な知識・能力を身に付ける訓練を行います。就職活動の支援を通して、身なり・挨拶をはじめとしたビジネスマナーも習得します。



P.06 柴田さんが働く職場では

パンの製造・販売以外にも喫茶店での接客やクリーニング、一般企業からの仕事の請け負いなど、利用者のニーズに合った幅広い就労環境を提供しています。職業指導員や生活支援員は、利用者の状況に応じた援助を行っています。

グループホーム（共同生活援助）



夜間や休日に、共同生活を行う住居で、相談や必要に応じて入浴、排せつ、食事の介護などの日常生活上の援助を行います。利用者の生活全般をサポートするため、職員（世話人）の業務内容は多岐にわたります。



P.05 富岡さんが働く職場では

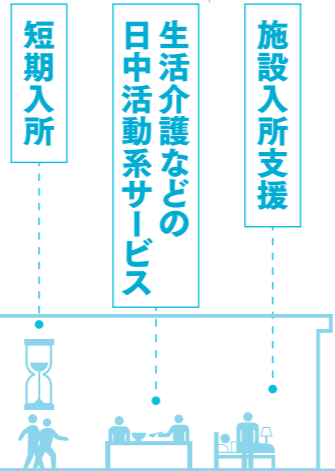
ハローワークでの求人検索や実際の面接への同行などの就労支援に加え、就職後も継続して働くことができるように、利用者と企業の間を立ち、お互いが気持ちよく働けるようサポートします。



P.08 下里さんが働く職場では

生活支援以外に、入所者の生活に楽しみをつくるレクリエーション活動にも力を入れています。24時間体制なので、スタッフは日勤や夜勤などのシフト制勤務です。

障害者支援施設



障害のある利用者が入所し生活している施設で、夜間や休日に介護を行う施設入所支援と昼間に介護や生産活動などの機会を提供する生活介護などの日中活動系サービスを行います。短期入所は、緊急時などに短期間の入所を受け入れます。



P.09 吉田さんが働く職場では

夜間の介護と日中活動の支援を行うため、勤務形態は交代で日勤や夜勤などの勤務にあたるシフト制となっています。吉田さんの職場では、概ね週に1回の夜勤があります。



研修の様子は
こちらで
ご覧いただけます



スキルアップのための 研修も充実

障害者福祉の現場では、職員一人ひとりのスキルアップをサポートするために、職場内研修や外部研修への職員派遣などのさまざまな取り組みを実施しています。講義形式と実践形式での研修を通して、専門知識を深めており、キャリアアップを実現できます。



名古屋市

平成28年2月発行

発行

名古屋市健康福祉局
障害福祉部障害者支援課

名古屋市中区三の丸三丁目1番1号

TEL.052-972-2558

FAX.052-972-4149

ウェルネットなごや ホームページアドレス

<http://www.kaigo-wel.city.nagoya.jp/view/wel/top/>

ウェルネットなごや



この冊子は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。